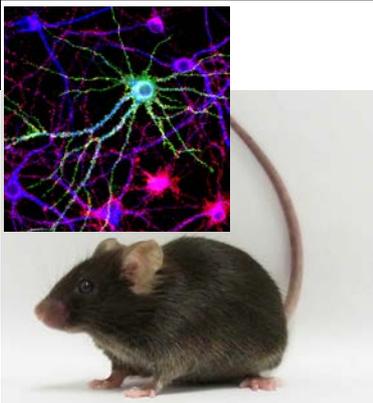


整理番号	HT27117	分野	生物	(キーワード:モデル生物・脳・神経)
------	---------	----	----	--------------------

明治薬科大学

ミクロからマクロまで 脳をまるごと大調査!

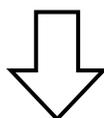
先生(代表者)	小川 泰弘(おがわ やすひろ) 明治薬科大学 講師			
自己紹介	私は中学生の頃、『脳の手帳-ここまで解けた脳の世界』(ブルーバックス)を読んで脳に興味を持ちました。その後、幸いにも本学で神経の研究を行っています。脳の染色像を顕微鏡で観察していると、その美しさに魅了されてしまいます。			
開催日時・ 主な募集対象	平成27年 8月20日(木)	(対象)	中学生	(人数) 30名
集合場所・時間	明治薬科大学 講義棟2階203講義室前	(集合時間)	10:00	
開催会場 (集合場所)	明治薬科大学 住所: 〒204-8588 東京都清瀬市野塩 2-522-1 アクセスマップ: http://www.my-pharm.ac.jp/koho/access/index.html			
内 容				
	<p>多細胞生物である動物は、意識せずに呼吸し心臓を動かすだけでなく、空腹を感じてご飯を食べようと筋肉を動かし、食べ物を摂取します。このような生命活動は神経系細胞に分類される特別な細胞達が、他の臓器に指令することでその機能を制御しています。</p> <p>本講座では、実験モデル動物として使用されているマウスの神経系細胞を顕微鏡で観察し、神経系細胞達の真の姿を紐解きます。また、実際に神経系に異常を示す病態モデルマウスを観察することで、神経系の異常がどのように個体に影響を与えるかを観察します。</p>			
スケジュール			持 ち 物	
9:30-10:00 受付(講義棟2階203講義室前集合)			筆記用具	
10:00-10:30 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)				
10:40-11:50 講義及び実習 「神経系の構造、神経細胞の顕微鏡観察」				
12:00-13:00 昼食			特 記 事 項	
13:00-14:10 講義及び実習 「神経情報伝達の基礎、実験用マウスの観察」			マウスなどげっ歯類のアレルギーのある方は、健康に影響があると考えられるため、本講座の参加は見合わせて頂きますようお願い申し上げます。	
14:20-15:30 講義及び実習 「神経系異常による疾患、病態モデルマウスの観察」				
15:40-16:20 グループ内でのディスカッション及び発表準備				
16:20-17:00 発表				
17:00-17:20 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)				
17:20 終了・解散				

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	産学連携・研究支援室 垣尾 将貴
住所：	東京都清瀬市野塩 2-522-1
TEL 番号：	042-495-8624
FAX 番号：	042-495-8612
E-mail：	kenkyu@my-pharm.ac.jp
申込締切日：	平成27年 7月10日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
小川 泰弘	2011～ 2014	若手(B)	23790257	グリア細胞の活動が調節する シナプス形成機構の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。